

評価について

【あゆみ】

1 学習状況の評価について

①評価規準をもとにして、単元における観点ごとの評価を行う。

②学期ごとに、観点別の評価を行う。

A よくできる（十分満足できる）

B できる（概ね満足できる）

C もう少し（努力を要する）

※ペーパーテストによる知識・理解の評価のめやす。

例) 90%以上正答 → A

60～90%未満正答 → B

60%未満正答 → C

③「特別の教科 道徳」（全学年）「読書科」（全前学年）「総合的な学習の時間」（第3学年以上）「外国語活動」（第3・4学年）は、文章で記入する。

④敬体で記入する。

2 行動の記録について

・各項目とも、十分満足できる状況のもと、あるいは十分満足できないが個人内で十分に伸びが見られたものについて評価する。

3 特別活動の記録について

・学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事について活動の内容を記録する。

4 総合的な学習の時間、外国語活動の記録について

・1年間で3観点すべてを評価できるよう、学期ごとに異なった観点で記入する。

5 学校から家庭へ（所見）の記録について

・活動の様子だけでなく、3観点にそってどのような力が身についたか記入する。

【指導要録】

1 学習状況の評価について

- ① 観点別に3学期分の評価を総括して、観点別学習状況として学習の記録に記入する。
(下記 左の表参照)
- ② 各教科の3観点の評価をもとに評定を行い、要録に記入する。(下記 右の表参照)

	各観点の評価 (3学期制)			要録の 学習の記録	各教科の3観点の評価 (3観点)			要録の評定
	1学期	2学期	3学期		知・技	思・判・表	主体	
	A	A	A	A	A	A	A	3
	A	A	B	A	A	A	B	3 or 2
	A	A	C	B	A	A	C	2
	A	B	B	B	A	B	B	2
	A	B	C	B	A	B	C	2
	A	C	C	B or C	A	C	C	2 or 1
	B	B	B	B	B	B	B	2
	B	B	C	B or C	B	B	C	2 or 1
	B	C	C	C	B	C	C	1
	C	C	C	C	C	C	C	1

- ③ 「特別の教科 道徳」(全学年)「総合的な学習の時間」(第3学年以上)「外国語活動」(第3・4学年)は、文章で端的に記入する。
- ④ 常体で記入する。

2 特別の教科 道徳について

- ・ 学習活動における児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を個人内評価として文章で端的に記入する。

3 外国語活動の記録について

- ・ 評価の観点を記入した上で、観点到照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記入する。第3・4学年のみ。

4 総合的な学習の時間の記録について

- ・ 行った学習活動及び本校が定めた評価の観点を記入したうえで、それらの観点について、児童の学習状況の特徴的な事項を記入するなど、児童にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記入する。第3学年以上

5 特別活動の記録について

- ・ 本校が定めた特別活動全内に係る評価の観点を記入したうえで、各活動・学校行事ごとに、評価の観点到照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、○印を記入する。

6 行動の記録について

- ・ 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動やその他の学校生活全体にわたって認められる児童の行動について、あらかじめ設定した評価項目の趣旨に照らして、十分満足できる状況のものについて。○印を記入する。

7 総合所見及び指導上参考となる諸事項について

- ・ 児童の成長の状況を総合的に捉えるため、(1)～(5)(小学校児童指導要録の様式及び取扱い参照)の事項等を文章で箇条書き等により端的に記入する。